

# cope CSネット

中国・四国

生活協同組合連合会cope中国四国事業連合会報

便り

とほ かがわ えひめ こうち

co·op 9生協の夢広がるネットワーク

発行  
2015年1月9日  
通巻39号

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年中はcopeCSネットの事業活動・運営に対し、ご指導・ご協力を頂き大変ありがとうございました。

2015年度は、設立10周年を迎えます。今年は、設立10周年を記念して、多くの組合員にご利用頂ける商品開発や記念企画を予定しています。

本年も引き続き、会員生協の皆様にはご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。



copeCSネット理事長  
小泉信司

## 「平和の折り鶴昇華再生事業」 平和の折り鶴がカレンダーに!



copeCSネットでは2014年10月より広島市の取り組みに賛同し、「平和の折り鶴昇華再生事業」の取り組みをスタートしました。

詳しくは4ページをご覧ください。

## CONTENTS

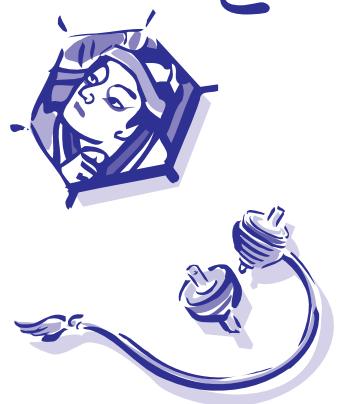
ページ

- ② 新年挨拶 理事長 小泉信司
- ③ 新年挨拶 常務理事 塩道琢也
- ④ 平和の折り鶴昇華再生事業  
エコセンターの状況報告
- ⑤ 2014年度  
商品セミナー開催報告
- ⑥ 2014年度 開発商品・品質管理研修会
- ⑦ copeCSネットピックス
- ⑧ 会員生協トピックス



コープCSネット理事長  
小泉信司

# 謹んで新年のお慶びを 申し上げます



昨年中はコープCSネットの事業活動・運営に対し、ご指導・ご協力を頂き大変ありがとうございました。

2014年度は、消費税増税という非常に厳しい状況の中でのスタートとなりましたが、組合員の生活に即した商品の品揃えや、PB商品の見直し、商品そのものの価値を分かりやすくカタログへ掲載した事から、11月が終了した段階ですが、実利運用高は予算比100・3%という結果を残せています。

新たな取り組みとしては、シニア向け商品案内カタログ「しあわせごはん」の取扱生協の拡大を図りました。60歳代から80歳代の構成比は、コープCSネットの食品全体より高く、シニア層の支持を得るカタログに成長しています。eふれんずでは、レシピ検索サイト「cookpad」やチラシポータルサイト「shuffoo!」と連携し、より便利なサイト構築を図り利用登録数が12万人を超えるまでになりました。その他、ラブコープキャンペーンへの参加、新規加入者向けに「まるわかりコープ」の実施、コープCSネット公式ホームページのリニューアルなどを行いました。また、広島市の取り組みに賛同し「平和の折り鶴昇華再生事業」をスタートし、「平和の折り鶴」を再生原料とした商品を作りました。「平和の折り鶴」の取組みは、広島県に本部のある事業連合として生活協同組合ひろしまや広島県生活協同組合連合会とも連絡しながら、全国の生協へ情報発信を行い、平和の思いが継承されるように取組んでいます。

求められています。今年は、設立10周年を記念して、多くの組合員にご利用頂ける商品開発や記念企画を予定しています。

急速な円安による商品価格の上昇だけでなく、食品の安全への問題、高齢化による買い物弱者の増加、有職主婦層の家事時間を短くしたいという要望など、これまで以上に組合員を取り巻く環境は多様になり、生協に求められる役割も多様化しています。また、インターネットの普及により、組合員の要望の一つに「スピード」という分野も現れてきました。引き続き、組合員の生活の変化や事業を取り巻く環境変化に対応した改革を実行し、多くの組合員に支持される品揃え・価格カタログ作成を進めていきます。のために、会員生協や組合員の声を今まで以上に聞き、普段の暮らしに役立つ商品事業に向けた改革・改善に取り組んで参ります。連帯の強みを生かした事業領域の可能性を追求し、会員生協への事業貢献を高めていきます。また、日本生活協同組合連合会、全国の事業連合との連携、関係を強め、商品企画・開発・仕入改善などのメリットを追求します。

コープCSネットの数値に対する姿勢・達成意識と行動が、会員生協の経営に大きく影響を与えている事を、コープCSネット職員が十分に自覚し、これまで以上に会員生協とのコミュニケーションを図り、役割を發揮する事が求められています。中国四国地区にある生協の事業連合として、これまで以上に会員生協の経営に貢献して参ります。

2015年度は、設立10周年を迎えます。残念ながら、コープ商品は、ブランド認知において大手企業PB商品より下回っており、生協ならではの開発・改善・強化が

本年も引き続き、会員生協の皆様にはご支援・ご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。

# コードCSネット 常務理事 年始の抱負



コードCSネット常務理事  
塙道琢也

新年明けましておめでとうございます。

昨年8月20日未明広島市を襲った集中豪雨による土砂災害では74名の尊い命が失われ、今なお避難生活を余儀なくされておられる方が多数おられます。被災された皆様、関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨年は4月から消費税が8%に増税されました。可処分所得は増えることはなく、普段の生活は大変厳しいものとなりました。増税対策として進めてきたPB商品の改善やカタログ表記方法の変更、そして、これまで以上に普段の暮らしに役立つ商品事業となるよう、会員生協の皆様と取り組み、全体では昨年度並みの実績を確保することができました。

また、今年度からスタートしたラブコードキャンペーンは、商品を真ん中にして商品と暮らし、「私」の大好きなコード商品に寄せる想いを寄せあつて暮らしにもっとコード商品を活かしていく活動や、もっとコード商品を利用していただけるような学習会や交流会、広報宣伝活動に力を入れ、商品事業と活動が連携しながら組合員一人ひとりの暮らしに役立てていただけることができたことも前年並みの実績を確保できた要因だと思います。

円安、株価上昇によって日本経済は回復基調といわれてきました。しかし、実際は一部企業の収益が改善されただけで消費は回復していません。消費税の増税は先送りされましたが、その猶予は18ヶ月しかありません。経済をはじめ取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、会員生協の皆様と一緒にになって困難な状況を打破していかなければなりません。特に、中四国地方は中山間地域を多く抱えており、生協には地域を支えていく役割發揮が求められています。各県で取り組まれている災害時物資支援協定の締結や地域見守り協定などの行政との連携、関係強化をはじめ、組合員同士の助け合いから地域の中での助け合い事業の推進なども積極的に取り組まれています。



コードCSネットは今年で設立10周年を迎えます。第4次中期計画では、各県で取り組まれている様々な活動を支えるためにも、10年という節目に新たな連帯のあり方について協議を開始することとなりました。同時に、16年度稼働を予定している新しい宅配事業システムは、たくさんの経験と知恵を寄せ合い、将来の宅配事業を支える基盤として成功させなければなりません。この第4次中期計画で、物流・システムをはじめ、事業運営基盤づくりを着実に実行に移し、成果につなげ生協の存在意義を更に高めるために努力して参ります。

昨年は平和記念公園に寄贈された折り鶴を再商品化する事業を広島県生活協同組合連合会、生活協同組合ひろしまと共同してスタートさせることができました。今年は太平洋戦争が終結して70年を迎えます。被爆70年、被爆者、戦争体験者の高齢化により、伝え、語り継ぐ継承が課題となっています。こうした分野でもコードCSネットの基盤を活用して取り組みの広がりとつながりづくりを推進していきたいと考えております。

皆様、どうかこの一年、健康で実り多い一年となりますよう祈念し、相互発展に向けより一層のご指導、ご協力を願いし新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひします。

## 「平和の折り鶴昇華再生事業」平和の折り鶴がカレンダーに!

コープCSネットでは2014年10月より広島市の取り組みに賛同し、「平和の折り鶴昇華再生事業」の取り組みをスタートしました。

### 「平和の折り鶴昇華再生事業」とは?

広島平和記念公園(広島県広島市中区)の「原爆の子の像」には、日本国内だけでなく世界各地から年間約10トンの折り鶴(約1,000万羽)が寄贈されています。コープCSネットは、広島市の「平和の折り鶴」の昇華への取組みに賛同し、2013年度は、3トンを広島市から受け取り、「平和の折り鶴」を再生原料として商品化しています。広島県内の生協(生活協同組合ひろしま、広島県生活協同組合連合会)と協力して、全国の生協へ情報発信しています。全国の生協で思いを一つにしてこの活動が広がり、平和の願い、思いが継承されていくことを願っています。

### 障がい者の就労支援・社会参加を推進

コープCSネットの特例子会社 株ハートコープおのみち(広島県尾道市)が再生原料の作業を行っています。株ハートコープおのみちは、全国の事業連合として初めて作られた特例子会社です。障がいのある職員が安全に働くことができるよう、ヘルメットや作業服にICタグを装着しプレス機にはICタグ検知器を設置したり、プレス機やベルトコンベアの近くに安全柵を設置したり、再生原料をリサイクル業者に引き渡す時間帯は作業場に職員のいない12時から13時の昼休憩時間に限定したり、様々な工夫をしています。



(株)ハートコープおのみちに届いた  
「平和の折り鶴」



吊り下げ用のフックに使われた針金などを  
取り除いた後、プレス作業に入ります



再生原料に加工された「平和の折り鶴」

## 2014年11月 平和の折り鶴がカレンダーになりました!

「平和の折り鶴」を再生原料として商品化したカレンダーを生活協同組合ひろしまの店舗と中国四国9生協の宅配事業で販売しています。2014年11月4日には、生活協同組合ひろしま、広島県生活協同組合連合会、コープCSネットの合同記者会見を広島市市政記者室で行いました。今後「平和の折り鶴」は、折り紙、封筒、名刺などの商品にも加工していく予定です。



2014年11月4日 合同記者会見の様子  
左より 生活協同組合ひろしま 横山専務理事、  
コープCSネット 小泉理事長、  
広島県生活協同組合連合会 高田専務理事



商品化されたカレンダー 2014年11月1回紙面より  
[CO-OP 折鶴リサイクル 3ヵ月メモカレンダー] 600円  
[CO-OP 折鶴リサイクル 森田れい子作品集カレンダー] 700円

### コープCSネット総合企画室より

「折り鶴に託された思いを昇華させたい」というお話を、広島市と生活協同組合ひろしまから伺った時に、その趣旨に賛同し、ぜひコープCSネットでも協力したいと思いました。この度、無事に「平和の折り鶴昇華再生事業」としてスタートさせることができ、大変うれしく思っております。そして、商品化第一弾として、カレンダーを中国地区四国地区的会員生協組合員さんへご紹介することができました。今後は、封筒、名刺など身近な商品に加工したり、コープ共済連と協力して折り紙に加工したりする予定です。「CO-OP折鶴リサイクル」マークの入った商品は、原爆の子の像に寄贈された折り鶴を原料として再生した商品です。日本国内だけでなく、世界中の人々の「平和への思い」があふれる商品です。コープCSネットでは、「CO-OP折鶴リサイクル」マークの入った商品を大切にしていると思っています。



CO-OP折鶴リサイクル

原爆の子の像に寄贈された折鶴を再生してリサイクルしています。

# 2014年度 商品セミナー開催報告

コープCSネット主催の商品セミナーは、会員生協組合員の「知りたい」「学びたい」という要望に応える形で2009年度よりスタートしました。当初はコープCSネット開発商品を中心とした商品セミナーでしたが、現在はCOOP商品、表紙重点商品、非食品に範囲を広げています。参加した組合員からは、「メーカーが開発までの苦労話が聞けて良かった」、「いつも買っていた商品だけど知らないことや知らない食べ方(使い方)があった」「商品がすごく身近に感じられる様になった」などの感想を多く頂いています。メーカーから見ると参加した組合員の暮らしやニーズを直接聞くことができる場となっており、組合員、メーカー・コープCSネット双方の貴重な交流の場となっています。

2014年度は12月10日時点で、

**110カ所で開催 延べ2,191人の参加がありました**

こんな  
学習会が  
ありました!



鳥取県生協 中部エリア会  
オタフクソース(株) 商品セミナー  
【CSお好みソース】  
2014年5月開催  
参加した組合員より  
「自分では思いつかないソースの使い方を知ることができました!」



鳥取県生協 西部エリア会  
コープCSネット 味彩課 商品セミナー  
【ふあみ～ゆ】学習会  
2014年5月開催  
参加した組合員より  
「牛乳アレルギーがあり、食べるのに困ることがあるので参考になりました」



おかやまコープ 総社東コープ委員会  
大山乳業農業協同組合 商品セミナー  
【CS大山ヨーグルト】 2014年6月開催  
参加した組合員より  
「おいしい牛乳のためには土から良いものを作っていると知りびっくりしました。いろんな種類の検査を受けて組合員の元へ届いていると知りました」



おかやまコープ 万寿中央コープ委員会  
コープCSネットドライ食品課 商品セミナー  
【COバリラスパゲッティ、COオーリーブオイル】  
2014年7月開催  
参加した組合員より  
「生協と提携していることで安心・安全な商品になっていることがわかりました」



コープやまぐち 川上コープ委員会  
花田食品(株) 商品セミナー  
【COジューシー100】 2014年8月開催  
参加した組合員より  
「着色料の実験では、ほんの少量でみんな鮮やかな色がつくことにびっくりしたと同時に怖いと思いました」



生協ひろしま 神辺・神石コープ委員長会  
イートアンド(株) 商品セミナー  
【大阪王将の餃子(生協仕様)】 2014年9月開催  
参加した組合員より  
「目の前で焼き方を実演していただき、自分でも実際に羽根付き餃子を焼いてみることができたので自信がつきました。購入して家でもやってみたいです」



コープやまぐち 岩国地域組織委員会  
小川珈琲(株) 商品セミナー  
【プレミアムブレンドなど】 2014年9月開催  
参加した組合員より  
「コーヒーは農作物で、天候や収穫状況によって品質が変わってくること、安定した品を生産することが難しいこと、産地によっての焙煎方法、ブレンドに対するこだわりを知りました」



生協ひろしま 御幸コープ委員会  
アズマ工業(株) 商品セミナー  
【ふしきクロス、ふんわりワイパーetc】  
2014年11月開催  
参加した組合員より  
「目からうろこのそういう方法が学べて大変良かった。今年の大掃除は効率が良く、道具、洗剤を使ってできそうです。」



コープえひめ 松山西プロック  
化粧品学習交流会  
【Beem企画化粧品】(株)クラブコスメチックス、サンスター(株)、  
伸栄商事(株)、双日コスメティックス(株)、(株)ナリス化粧品  
2014年12月開催  
参加した組合員より  
「楽しく学習できる機会になりました。価格も大切ですが効果とともに納得のいく商品がみつけやすくなりました。また、カタログ紙面だけではわからない内容が沢山聞けてとてもよかったです。」

# コープCSネット コープCSネット虹の会 共催 2014年度 開発商品・品質管理研修会

2014年9月25日(木)

会場 広島市東区民文化センターホール

参加 対象取引先様145社223名

この研修会は、PB商品（CS独自開発商品、中国地区5会員生協PB商品）及び産直品の取引先様（主に、品質管理責任者や営業担当）を対象とし、毎年開催しています。

その時々に話題になる食品衛生・安全に関する学習とコープCSネットの考え方や基準を報告し、食に関する「安全・安心の具体化」を取引先様と共有することを目的として研修会を開催しています。

開催9回目となる今年度は、食品安全・衛生管理の実践的対応として、食品製造において注意が必要なノロウイルスへの対策と、昨年の冷凍食品への農薬混入事件を受けて日本生活協同組合連合会が取り組んでいる食品防御の対応と対策について、講師を招き講演を行いました。また、コープCSネットから苦情内容の分析や食品防御に対する取り組み報告を行い、取引先様へコープCSネットの考え方の理解と周知を図りました。

最初に、国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第四室室長 野田様より「ノロウイルス食中毒の現状と対策」をテーマにご講演を頂きました。ノロウイルス感染症、食中毒発生状況やノロウイルス食中毒の特徴や予防法などの具体的な事例が紹介されました。取引先様からは、「ノロウイルス対応については、手洗いなど、基本的な衛生管理を徹底していくことが大切である点を再確認できた」「大変わかりやすく、イラスト等も含め、社内衛生教育に役立たせたい」「具体的な事例が示され、大変参考になった」などの感想が寄せられました。

続いて、日本生活協同組合連合会 品質保証本部 八反田様より「日本生協連の食品防御への対応と取り組み」というテーマでご講演を頂きました。日本生協連の品質保証の概要説明や食品防御関連項目を入れた工場点検帳票の改訂のポイントについて分かりやすく説明頂き、日本生協連が取引先様に実施した食品防御についてのアンケート結果が紹介されました。取引先様からは、「食品防御は組織全体の問題であり、対応していかなければならない事だと感じた」「外部アクセス管理、内部コミュニケーション、従業員管理の必要性を理解できた」

「ハード面の対策はなかなかすぐに出来ないこともあるが、少しずつでも進めていき、ソフト面での管理レベルアップも日々向上していく必要があると感じた」などの感想が寄せられました。

講演の後、コープCSネット品質保証部より「苦情内容の分析」「商品仕様書システムの改定」と「食品防御対策としての工場点検帳票の改定」など実務的な報告を行いました。

研修会全体としては、関心が高い内容や最新情報も織り込むことができ、食に関する「安全・安心の具体化」を取引先様と共有することができました。

## 「品質保証レポート」を発刊しました

品質保証の取り組みや日頃の検査の様子などをわかりやすくまとめたレポートを2014年10月に作成し、中国地区5会員生協の職員に配布しました。食の安全・安心のための活動をお知らせすることに主眼を置き、品質保証の仕組みや食品添加物基準などは、組合員さんにもお知らせして頂けるよう工夫しています。「品質保証レポート」は、コープCSネットホームページでも公開しています。



## 品質保証部 商品検査課 事業所移転のお知らせ

コープCSネット品質保証部商品検査課は、平成27年1月7日（水）をもちまして事務所を広島県廿日市市から広島県広島市東区光が丘に移転しました。新検査室での業務は、1月12日（月）から開始します。コープCSネット本部事務所（広島市東区二葉の里）の近隣に移転することにより、商品事故対応・品質協議や、商品改善の業務活動を円滑に行います。

# コープCSネット トピックス

## 11月発売! コープCSネット独自開発商品

2014年11月に「パクッとプリッとエビフライ(大)」がコープCSネット独自開発商品として仲間入りしました。近年、原料エビの主要な生産国である中国やタイで、エビの病気により水揚げが激減し、バナメイエビだけでなく、ブラックタイガー、天然エビも原料価格が世界的に高騰しています。原料事情は厳しい状況にありますが、原料生産国をインドネシアにすることにより、生協のエビフライを安定して組合員さんの食卓にお届けすることを実現しました。

### パクッとプリッとエビフライ(大)



#### 組合員モニターさんの主な声

「本当にぱくっと食べたら、プリッとした食感でした!」  
「とても食感がよく、衣も多くなく満足して食べました」  
「ひと口目から最後までしっかりエビの食感があつて美味しかった」  
などの声を頂きました!

\*中国地区5会員生協 延べ913名の組合員さんに評価いただきました。

【規格】「1個 130g(5尾)」「2個組 130g(5尾)×2」の2商品

#### 【商品特長】

- エビはインドネシア(中部ジャワ)の自然に近い環境で育てたブラックタイガーを、鮮度を重視して産地一回凍結で加工しました。
- 食べ応えのある「大サイズ」の無頭エビを使用しました。  
(※大サイズとは、国際規格1ポンド(453.6g)あたり 26~30尾(除頭)のサイズのものを使用しています)
- エビのスジ切りは最低限にし、伸ばし加工をせずに、一口目の「パクッと噛んだらプリッ!」とした食感を重視しました。

#### 【原材料】

えび、衣(パン粉、小麦粉、でん粉、砂糖、食塩、植物油脂、ショートニング)、加工でん粉、調味料(アミノ酸)、ベーキングパウダー

#### 【アレルギー物質】

小麦、えび ※本品製造工場では、卵を含む製品を生産しています。

## 2014年度「もずく基金」状況報告

コープのもずくの産地、沖縄県恩納村のサンゴは、1988年と2001年の海水温の上昇により、大きなダメージ(白化現象と呼ばれるサンゴの死滅)を受けました。

命を育む海を未来に渡って保全するために、中国地区5会員生協とコープかがわの組合員が対象商品を利用することによって基金を積み立て、サンゴを養殖し、恩納村の海のサンゴ保全に役立てるのが「もずく基金」です。

2014年4月~11月までの基金は、1,465,684円となっています。

### もずく基金 主な対象商品

### CS独自開発商品 恩納村産味付糸もずく 55g×4

### CS独自開発商品 恩納村産味付太もずく 55g×4 など



\*2014年度の対象商品は、宅配事業9商品・店舗事業13商品となっており、対象商品は生協ごとに異なります。

## 2014年度「復興支援金」積立状況報告

コープCSネットでは、「復興支援金」として、2014年4月1回~2014年12月5回までの対象商品の供給代金の一部を積み立てています。支援金は、会員生協を通じて被災された生協やメーカー・生産者、復興支援団体などにお届けする予定です。

積立総額は、2014年11月末時点で 13,613,298円 となっています。

### 2014年度の 対象商品

・「HelloCoop」「CIEL」「eats」「CO-PAL」「ここくる」  
中国5会員生協の食品案内チラシで企画する  
コープCSネット開発商品、CSオリジナル商品の  
ご利用1点につき1円を積立てます。

・「キャロット」企画全品  
中国地区四国地区9会員生協の  
非食品案内チラシ「キャロット」掲載商品の  
ご利用1点につき1円を積立てます。



## お好み焼き隊が東北3県を訪問しました!

**第1陣 9/29~10/2  
焼いたお好み焼き  
225枚**

宮城県

**第2陣 10/2~10/5  
焼いたお好み焼き  
209枚**

岩手県

**第3陣 10/5~10/8  
焼いたお好み焼き  
278枚**

福島県

生協ひろしまでは、東日本大震災で被災された方にお好み焼きをふるまうことで、元気と笑顔を届ける活動を2012年より継続して行っています。2014年は9月29日~10月8日の10日間で東北3県を回りました。お好み焼き隊メンバーは生協ひろしまの組合員さんと職員です。また、被災された方を元気づけようと「虹のコーラス」のメンバーも参加しました。コープCSネットの職員も、第3陣の福島県へ派遣された「お好み焼き隊」の一員として参加させてもらいました。



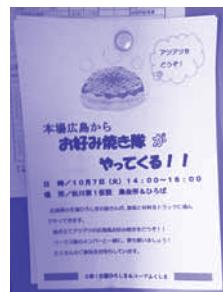
お好み焼き隊の出発式  
(9月29日(月)JR広島駅)



第3陣お好み焼き隊のメンバーと  
現地で手伝ってくれたコープふくしま、  
自治会の皆さん



届みんないで、焼いて、焼きまくり、  
届けられるぞおう!



仮設住宅の中には、  
嬉しいチラシがありました！

「広島のお好み焼きについて」広島のお好み焼きの元になった料理は、関西の「一錢洋食」です。戦後の食糧難の中、配給された小麦粉とありあわせの野菜で作った「一錢洋食」の上に豚肉をのせて、「お好み焼き」と名前を変えて売ったのが始まりだと言われています。現在、全国の多くの人に愛されている広島のお好み焼きには、広島の復興の歴史と復興を支えた人々の思いが詰まっています。

### 第3陣お好み焼き隊 (福島県)に参加した コープCSネット職員より

お好み焼き隊に参加させて頂き、また良き仲間と共に活動でき、貴重な経験をさせて頂いたことに心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。お好み焼き隊の活動では、次の3点が特に印象に残りました。



相馬市あたりは除染した土を袋で保管しています。

### 「時間が止まっている」

除染で除かれた表土は、黒い袋に入れられたまま野ざらしで、その袋の耐用年数も5年とのことに不安を隠せないという声を聞きました。避難地区となり、地震翌日の新聞がそのまま新聞販売店に残されている写真。マスコミ報道は少なくなったものの被災地(福島)では時間が止まっている状況に心が痛みました。

### 「地域の連帯と生協パワーのすばらしさ」

社会福祉協議会の方は、仮設住宅住民の方のお名前だけでなく生活ぶりまで把握しており、台風の中、各戸を訪ねてお好み焼き隊の活動を説明して下さいました。コープふくしまの組合員さんも同行して一緒に回りながら案内頂きました。コープふくしまの組合員さんは、お好み焼き隊到着と同時にキャベツ切りをはじめ、焼き始めたら地域への案内と飛び回っていました。生協の雰囲気はここでも良く似ていて、共通する力強さがあることに改めて気付かされました。

### 「継続は力」

3年目のお好み焼き隊ということでしたが、集会所には寄せ書きが貼ってあり、組合員理事さんだけでなく、一般の組合員さん、専務理事、常務理事までお好み焼きが上手に焼けるようになっていました。東京での日本生協連の会議では、宮城、福島で広島のお好み焼き隊がうわさになっていることなどを聞き、継続が力になっていることを改めて感じました。

### 「コープのおいしめし!」特別番組 放送のお知らせ

## 「産地訪問 会いたくて男二人旅 ~冬の瀬戸内篇~」



「コープのおいしめし!(中国地方4局 毎週月曜日11:25~11:30)」は、宅配事業で企画している商品をメイン食材にした、簡単で美味しい料理を紹介する番組です。放送も5年目を迎え、中国地方の多くの組合員さんに好評です。

「コープのおいしめし!」では、夏と冬に30分間の特別番組を放送しています。今年は、2015年1月19日(月)に冬の特別番組を放送します。2014年夏に放送し、好評だった「産地訪問 会いたくて男二人旅」の続編をお送ります。特番放送後のレギュラー番組では特番で紹介した食材を使って「もう一品」を紹介します。

### 番組内容

夏に続き、タレントの竹本孝之さんを旅人に、料理人に下原一晃さん(ひろしま旨い物処 稲茶 料理長)を迎え、山口県・周防大島を旅します。地元大島の食材を紹介し、その食材を使った創作料理のレシピを放送します。

### 【放送日時】

2015年1月19日(月) 10:55~11:25

\*特別番組放送後11:25~11:30は、レギュラー番組を放送します。

### 【放送局】

日本海テレビ(鳥取・島根)、西日本放送(岡山)、広島テレビ(広島)、山口放送(山口)

### 【ホームページでの動画公開】

放送後に動画(番組ダイジェスト版)をコープCSネットホームページで公開する予定です。<http://www.csnet.coop/>まで

